

日経

ヘルスケア

NIKKEI
HEALTHCARE

12

2010
NUMBER 254

ムダ・ムリ・ムラ撲滅で収益アップ!

「見える化」で 強い病院をつくる

伸びる
介護事業者は
CSが違う

REPORT

診療所外来にも
医療クレーク

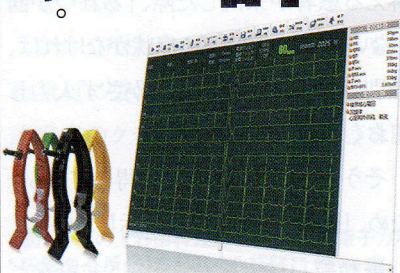




多数のご予約ありがとうございます。価格を超えた信頼性と安全性がドクターのハートに届いて大反響！製品の詳しい内容はホームページでご覧いただけます。

98,000円(税別)の心電計

年末までの驚きの価格です。お急ぎ下さい！
(2010年)



5 5年間保証
500 限定台

標準12誘導解析機能付心電計
医療機器認証番号 222AABZX00002000

ECG Explorer 500A

詳しくはWebで!

www.pc-ecg.com/

電話による製品のご予約・ご相談は
フリーダイヤル **0120-075-099**

通常販売価格398,000円(税別)を先着500台限定で上記価格でご提供いたします。ご予約はお早め!



SAN-EI MEDISYS CO., LTD.

i-0011

「単に電子カルテを入力するだけでなく、診察の流れを見て、業務が滞っているところがあれば手伝うなど臨機応変な対応をしてもらっている」と語る。

職員向けに紙カルテの書式を工夫

紙カルテへの記入を事務職員に委ねている診療所もある。整形外科を標榜する、きたクリニック(大阪市東淀川区)では、1997年の開業以来、各種の書類の作成を補助する職員を配置してきた。院内での呼称は「ライター」。5人の事務職員のうち、常勤2人が専任で携わっている。

院長の喜多義将氏は、「ライターはレセコンも扱えるが、あえて診療の補助業務に専念してもらっている」と語る。医師との連携プレーが重要になるため、コンビネーションを磨く狙いから専任にしているという。2人のスタッフは、いずれも医療秘書を養成する専門学校の卒業生だ。「せっかく医療秘書の勉強をしても、就職したら受付・会計の仕事だけ任されることが多い。診療の補助業務

に携わることでモチベーションも高まる」(同氏)。

喜多氏が1日に診る患者数は100人近くに上る。待ち時間短縮のため二つの診察室を設け、喜多氏が診察している間に、もう一方の診察室で次の患者が待機するスタイルを採用。2室それぞれにクラークを配置している。

主な業務は、①カルテの記入、②検査伝票・放射線照射録の記入、③診断書などその他の書類の記入、④他院への紹介を含む予約業務、⑤医師の指示受けと院内への伝達——の五つ。整形外科の特性として、労災や介護保険などの保険関係の書類が多く、定型的な書類はクラークがまず記入し、喜多氏がチェックする形にしている。

ユニークなのは、クラークが書きやすいように書式を工夫している点だ。

患者数が多い腰痛については、「スペシャルチャート」という問診や身体診察の記録用紙を作成。「鋭い痛み」「鈍痛」などの選択肢をあらかじめ用意し、該当するものにチェックをつければ済む形

にしている。カルテ本体にも、実施頻度が高い処置や検査などを列挙した欄を設けてあり、実際に行ったものをチェックするだけで済む(図3)。

さらに、クラークの業務をすべてマニュアル化。新人が入職してきたら、先輩職員がマニュアルを基に教え



きたクリニックでは、紙カルテなどの記入を事務職員が補助している

